雑誌広告デジタル送稿

モノクロ(グレースケール) PDF 制作ガイド

2016/2/1 改訂

Illustrator CS6 以上 Acrobat XI 以上

対応版

雑誌広告デジタル送稿推進協議会 日本雑誌協会 日本雑誌広告協会 日本広告業協会

CONTENTS





モノクロ(グレースケール)PDF制作ルール

本ガイドで使用しているキャプチャーおよび文言は、Macintosh版 Adobe Creative Cloud製品から引用 しています。その他のOS・バージョンにおいて表記が異なる場合がありますが、アプリケーションのヘルプ 等を参照し、ガイドに記載の設定・手順と同じになるように制作進行をお願いします。

制作環境

□ データフォーマット

Mac版 / Windows版 Illustratorから書き出した PDF 形式。雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の [PDF 設定] を利用する。 Acrobat Distiller やその他のアプリケーションから PDF を作成しない。

□ 使用システム

Illustratorのバージョンに合わせ、それぞれ推奨される OS を使用する。

□ 使用ソフト

Adobe がテクニカルサポートする下記のバージョンのみ使用可とする。各アプリケーションは最新のバージョンにアップデートする。

Photoshop CS6 以上 Illustrator CS6 以上 Acrobat Pro XI 以上

※InDesign は使用不可

各アプリケーションの<u>バージョン確認方法</u>

Photoshop CC の場合 プルダウンメニュー [Photoshop CC] から [Adobe Photoshop CC について...] を選択 **Illustrator CC の場合** プルダウンメニュー [Illustrator CC] から [Illustrator について...] を選択

Adobe Photoshop CC 2015: ۲۰۶۰–۲ 2015/11/4.2017 x84



※Windows の場合はメニューバー [ヘルプ]→[(各アプリケーション) について] で確認する

□ ウイルスチェック

必ずウイルスチェックをしたメディアを使用する。

□データ圧縮

原稿データを圧縮ソフトで圧縮しない。

□ファイル名

レイアウトデータ、配置データのファイル名は、半角カタカナと半角記号を使用しない。アンダーバー[_]及び拡張子のドット[.]は使用可。 文字数は、拡張子を含め 31 文字以内とする。

□ データ量

原稿データのデータ量は 600MB 以下にする。

□ プリフライト

作成した [モノクロ (グレースケール) PDF] は、雑誌広告デジタル送稿推進協議会が配布する最新の [プリフライトプロファイル] を用い、 Acrobat Pro DC (Acrobat Pro XI) でデータのプリフライトを実施し、不備のない事を確認する。



○ 1 モノクロ (グレースケール) PDF制作ルール

Acrobat Pro DC の場合 プルダウンメニュー [Acrobat Pro] から [Adobe Acrobat Pro DC について] を選択

Adobe Acrobat Pro DC 2015 Release (Continuous) | パージョン 2015.009.20077

モノクロ(グレースケール)PDF制作ルール/Photoshop



グレースケール、モノクロ2階調を使用する。CMYK、RGB、ダブルトーン、カスタムカラー等は使用しない。

■画像解像度

多値画像は最終出力解像度が290~450dpi、二値画像は1000~3000dpiにする。 拡大縮小率は多値、二値画像共に80~120%とする。 画像のトリミングに関して

配置することを推奨。

程度までとする。

クリッピングパス

クリッピングパスの[平滑度]は、0.2デバイスピクセル に設定する。



校正設定を使用:作業用 CMYK
 カラープロファイルの埋め込み: Dot Gain 15%

業効率が低下します。 画像データを修正した際は、レイアウトデータ を再保存する。

[カラープロファイルの埋め込み]のチェックは外す

画像データはPhotoshopで適切な範囲にトリ ミングし、データを軽くした上でIllustratorに

トリミングの目安としては、総面積比の200%

※マスク処理されて隠れている範囲が大きい 画像データは、不必要にデータが重くなり、作

ICCプロファイル

■画像の保存形式

・画像データのフォーマットは、PSD(Photoshopネイティブ形式)、EPS、TIFFを使用する。 ※PSD形式推奨

カラー

・レイヤーは統合する。

Photoshop上で文字を扱う場合は、文字が350dpiでラスタライズされ、がたつきが生じる恐れがありますのでご注意ください。

EPS、TIFF形式は以下のルールに従い、適切に使用する。

 EPS形式 保存時の[EPSオプション]で、 ・[エンコーディング]は、[ASCII85]を選択する。● ・[ハーフトーンスクリーンを含める]のチェックを外す。 ・[トランスファー関数を含める]のチェックを外す。 	 TIFF形式 保存時の[TIFFオプション]で、 ・ [画像圧縮]は [なし]または [LZW]、 [ZIP]を選択する。 ※JPEG圧縮は不可。 		
 ・ [ポストスクリプトカラーマネジメント]のチェックを外す。 ・ [画像補間方式]のチェックを外す。 EPS オプション プレビュー: TIFF (8 bit/pixel) OK OK OK 	 画像圧縮 なし LzW ZIP JPEG 画質: 最高 ∨ 	ビクセルの順序 ・ インターリーブ (RGBRGB) ・ チャンネルごと (RRGGBB) バイト順序 ・ IBM PC ・ Macintosh	
・ ・<	 ファイル(小) ファイル(大) 画像ビラミッドを保存 透明部分を保持 	レイヤーの圧縮 RLE (高速保存、ファイルサイズ大) ZIP (低速保存、ファイルサイズ小) レイヤーを破棄してコピーを保存	
画像補問方式			



■ 原稿サイズ・裁ち落とし・塗り足し・カラーモード

新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて仕上がりサイズをページサイズとして設定する。 裁ち落としを天地左右3mm(雑誌により例外あり)に設定する。 カラーモードをCMYKに設定する。 載ち落とし部分には塗り足しを正しく設定する。(雑誌により例外あり) ④





トンボ

Illustrator上で発生させるトンボ (トリムマーク) は使用不可。 トンボはPDF保存時に[PDF設定]に規定されている設定を元に自動発生するため、原稿内に手動で作成する必要がない。



■カラー設定

[編集]メニューの[カラー設定]の[設定]で[Adobe® Illustrator® 5.5をエミュレート]は使用しない。 〔カラーマネジメントポリシー]のCMYKは[カラー値を保持 (リンクされたプロファイルを無視)]を選択する。
②

作業用スペー	Z		
	RGB : Adobe RGB (1998)	•	
カラーマネジ	メントポリシー		
	RGB : 埋め込まれたプロファイルを保持	•	
<u></u>	CMYK : カラー値を保持 (リンクされたプロファイルを無視)	•	
プロファ	イルの不一致:☑開くときに確認 ☑ ペーストするときに確認		
埋め込みプロ	ファイルなし: 🗹 開くときに確認		

■効果メニュー

[効果]メニューの[ドキュメントのラスタライズ効果設定]の[カラーモード]を<mark>[グレースケール]</mark>に、[解像度]を[その他 350ppi]に設定する。



■レイヤー・オブジェクト設定

テンプレートレイヤー、非表示レイヤー、非印刷レイヤー、ロックレイヤー、非表示オブジェクト、ロックオブジェクトの設定はしない。

モノクロ (グレースケール) PDF制作ルール

■ 使用色

オブジェクトはグレースケールのみで作成する。CMY0%+K0~100%、CMYK、RGB、スポットカラー(カスタムカラー)は使用不可。 原稿データ内に不要な版の色指定はしない。



■ パターンの分割

パターンを使用している場合は、分割・拡張を行う。



フォント

フォントはエンベッドせず、全てアウトライン化する。フォントデータを含む孤立点は、原稿データ内に入れない。

オーバープリント



配置素材

画像の配置は[ファイル]メニューから[配置]を選択して行い、他のアプリケーション上でコピーしたオブジェクトはIllustratorファイル上にペ ーストしない。配置できる形式はPhotoshop(CS6以上)で作成したPSD、EPS、TIFF形式のみ。画像は全て埋め込む。





^{参考)}原稿内オブジェクトの確認方法

[ウィンドウ]メニューから[ドキュメント情報]を選択して[ドキュメント情報]パレットを表示する。



[選択内容のみ]のチェックを外す●

[オブジェクト]を選択。全てのオブジェクトがグレースケールのみになっていることを確認する。 ②
[埋め込まれた画像]を選択。全ての画像がグレースケール・モノクロ2階調のみになっていることを確認する。 ③



●[埋め込まれた画像]を選択し、全ての画像がグレース ケールまたはモノクロ2階調になっていることを確認する。

グレースケールへの変換方法1

オブジェクトを選択し、[編集]メニューの[カラーを編集] から[グレースケールに変換]を選択する。

編集 オブジェクト 書式 選択 効:	果表	
消去の取り消し やり直し	೫Z 쇼೫Z	
カット コピー ペースト 前面へペースト 背面へペースト 同じ位置にペースト すべてのアートボードにペースト て 消去	業X 業C 業V 業F 業B 企業V 公業V	
検索と置換 次を検索 スペルチェック カスタム辞書を編集	жı	
カラーを編集	•	オブジェクトを再配色 プリセットで再配色 ト
		CMYK に変換 RGB に変換 オーバーブリントプラック カラーバランス調整 カラー反転 グレースケールに変換

グレースケールへの変換方法2

オブジェクトを選択し、[カラーパレット]から [グレースケール]を選択する。



!

参考

全ての効果・フィルターメニュー・透明オブジェクトはCMYKでイメージが作成される為、モノクロ(グレースケール)PDF原稿作成時は 透明オブジェクトをラスタライズ (透明の分割・統合) し、グレースケールモードに変換する必要があります。 以降1~5の手順で処理を行なってください。

1.透明オブジェクトが使用されている場所を特定する。

[ウィンドウ]メニューの[分割・統合プレビュー]を選択して[分割・統合プレビュー]パレットを表示する。 [更新ボタン]をクリックし❶ハイライト[透明オブジェクト]を選択する。❷ ※[透明オブジェクト]がグレーアウトされて選択できない場合はドキュメント上に透明機能が使用されていませんので以降の処理は不要です。



2.アピアランスの分割(透明部分の画像化)

[分割・統合プレビュー]パレットで確認した透明オブジェクトを選択し、[アピアランスを分割]を選択する。 ※フィルターメニューを使用して作成されたオブジェクトは、作成時にアピアランスが分割されるため、[アピアランスを分割]がグレーアウト していますので、処理の必要はありません。また、画像に透明効果を使用している場合も処理の必要はありません。



3.透明部分の分割・統合

[分割・統合プレビュー]パレットのハイライト[影響されるすべてのオブジェクト]で透明オブジェクトが影響するオブジェクトを確認する。 影響されるすべてのオブジェクトを選択し、[オブジェクト]メニューの[透明部分を分割・統合]を選択し[雑誌広告送稿用]を選択する。 ② ※[雑誌広告送稿用]はP13の[AdobePDFプリセットを読み込み]により自動で追加されます。



④プリセットから[雑誌広告送稿用]を選択してOKをクリックする

透明オブジェクトが分割され、ドキュメント内 の透明属性がなくなりました



4.分割した画像のグレースケール化

[透明部分を分割・統合]で作成した画像はCMYKモードに変換されてしまう為、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに 変換]でグレースケール化を行なう。



ることを確認する

分割・統合により画像がCMYKモードになってしまった

5.最終確認

P8を参照して原稿内のオブジェクトがグレースケールで作成されているか最終確認を行なってからPDFを書き出してください。

<モノクロ(グレースケール)PDFデータ制作に関する注意点抜粋>

- ・「効果]メニューの「ドキュメントのラスタライズ効果設定]の「カラーモード]を「グレースケール]に設定
- ・原稿オブジェクトはグレースケールのみ使用する。CMY0%+K0~100%、CMYK、RGB、スポットカラーは 使用不可。
- ・配置画像に塗りの設定は行なわない。
- ・情報パレットの[オブジェクト] [埋め込まれた画像] でグレースケール以外が使用されていないことを確 認する。
- ・透明オブジェクトを使用している場合は、[アピアランスの分割]をした後[透明部分を分割・統合]を行い、 分割された画像を選択してグレースケールに変換する。



<データ制作に関する注意事項>

・8.5pt未満のヌキ文字を使用すると、本機印刷時にツブレなど発生する場合があります。

- ・0.3pt未満の罫を使用すると、本機印刷時にカスレなど発生する場合があります。
 - 10%未満の平網を使用すると、本機印刷時に再現されない場合があります。



■特殊ページ制作方法

小枠原稿

新規ドキュメント作成時またはドキュメント設定画面にて仕上がりサイズをページサイズとして設定する。 裁ち落としを天地左右3mm(雑誌により例外あり)に設定する。 カラーモードをCMYKに設定する。 載ち落とし部分には塗り足しを入れない。(雑誌により例外あり) ④



A

〇〇 こ ー こ ー こ ー ル) PDF作成方法

モノクロ (グレースケール) PDF作成方法/**Illustrator**

■ AdobePDFプリセットを読み込み

[雑誌広告送稿用_200909]及びAdobeソフトウェア に同梱されている[雑誌広告送稿用]は使用できません。 雑誌デジ送ナビhttp://www.3djma.jp/より最新の「PDF 設定」をダウンロードしてご利用ください。 ※Adobe PDFプリセットはJMPAカラー準拠PDFで使用するファイルと同一です。



PDF書き出し

規定の「PDF 設定」を利用して、Illustrator から最終送稿PDF データを保存する。 最終送稿PDF データのフォーマットはPDF 形式、作業中のデータ保存はIllustrator ネイティブのAi 形式を利用する。 Acrobat Distillerやその他のアプリケーションからは送稿用PDFデータを作成しないでください。



JMPAカラー準拠PDFプリフライト

モノクロ(グレースケール)PDFプリフライト/Acrobat

Å

■プリフライトの実施

[雑誌広告送稿用_200909]・[雑誌広告送稿用_201101M]・[雑誌広告送稿用_201406M]及びAdobeソフトウェア に同梱されている[雑誌 広告送稿用]は使用できません。規定のモノクロ (グレースケール) PDF専用プリフライトプロファイルを用いて、最終送稿PDFデータの検査を行う。

プリフライトの実行



パターンのエラー警告と共に表示される場合があります。パターンオブジェクトに分割・拡張処理を行う事でエラーを回避できます。

モノクロ (グレースケール) PDFプリフライト / Acrobat



■不要な版の確認

プリフライトチェック後は、[ツール]メニューの[印刷工程]にある[出力プレビュー]の[色分解プレビュー]で プロセスブラックを非表示にして、不要な版情報が残っていないか確認を行う。



■プリフライトレポートの作成

プリフライト実施後、全ての確認作業(仕上がりサイズ、不要な版、セーフティ・塗り足し有無)で問題がないことを確認した上で、 プリフライトレポートを作成・プリントアウトして送稿メディアに添付する。



イト]パネルの[レポートを作成]をクリックします。



2. [保存]パネルで[PDFレポート]の[概要]を選択して保存 してください。[詳細] にチェックを入れて保存すると不要 な情報を含んでしまうため不可。 ファイル名の最後に[_report]とつけ、最終送稿PDFデー タと区別が付くようにしてください。





○ ↓ 送稿セット作成・出力見本について

■送稿(入稿)4点セット

□メディア

1原稿1メディアとし、次のメディアを使用する。

CD-R:700MB 以下(CD-RW は不可) / DVD-R:4.7GB 以下(DVD-RW は不可)

送稿メディア(CD-R・DVD-R)には、PDF 原稿とプリフライトを実施したプリフライトレポート(P15参照)だけを収め、レイアウトに埋め込んだ 画像データや原稿の素材データは同梱しない。





不要なファイルが同梱されている

□仕様書

モノクロ原稿は「モノクロ(グレースケール)PDF仕様書」を使用する。 仕様書に記載事項を正確に記入し、プリントアウトして添付する。※仕様書のファイルは、送稿メディア内に含めない。

□プリフライトレポートの添付

最終送稿PDF データに問題がないことを確認した上で、プリフライトレポートをプリントアウトして送稿メディアに添付する。 プリフライトレポートPDF データも送稿メディア内に同梱する。



□出力見本

送稿メディアの最終送稿PDFデータをPostScript対応プリンターを使用した原寸出力物(拡大もしくは縮小は不可)を添付する。 出力はモノクロ出力を行い、出力見本であることを出力物に明記する。 出力見本・送稿PDFデータ内には恒常性管理用カラーパッチは不要。



出力物に明記する[出力見本] の文言はPDFデータ内には入れ ずに、手書きまたはシールを貼 るなどして対応してください。

[雑誌広告デジタル送稿]
 「モノクロ(グレースケール) PDF」デジタル制作ガイド
 Illustrator CS6以上 / Acrobat XI以上 対応版
 2011 年1月14日改定 2016年2月1日改訂
 雑誌広告デジタル送稿推進協議会

注意事項

- ■本制作ガイドの一部または全部を雑誌広告デジタル送稿推進協議会の事前承諾なしに改編することを禁じます。
- ■本制作ガイドに記載された内容は最終送稿PDFデータまでの運用情報の提供を目的としておりますが、予告なしに変更されることがあります。
- ■国内で発行される雑誌における、雑誌広告専用の送稿データは、カラー原稿の場合はCMYKデータのみで、モノクロ原稿の場合はグレースケール データのみです(RGBデータは一切不可)。従って、送稿データのガイドとして、画像データに関する記述・表示はカラー/モノクロそれぞれCMYK/グ レースケールを基準として解説しています。
- ■本制作ガイドにはPhotoshop編がありますが、これはあくまでも画像処理が完了し、最終送稿PDFデータを保存する場合の解説であることをご了 承ください。

■雑誌広告のデジタル送稿推進を目的に作成された本制作ガイドは、雑誌広告専用の仕様および内容となっています。 他の媒体でのご使用は出来ませんので充分ご注意ください。 Apple、Macintosh、MacOSはApple Inc.の商標で、米国および各国で登録されています。 Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 Adobe Illustrator、Photoshop、AcrobatおよびPostScriptはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。 その他すべてのブランド名および製品名は個々の所有者の登録商標もしくは商標です。